

# 平成29年度後期学校生活アンケート考察

## ○全体的な傾向

- ・児童のあいさつ、思いやり、勤労、既習事項の活用、将来の夢についてはややプラスに改善されています。各月の生活目標や6年生の卒業に向けての行事等で改善されるような取り組みが行われて事が影響していると考えます。
- ・保護者の結果は、全体的にはややプラスの傾向が見られます。しかし、これまでなかった「学校は情熱を傾けて意欲的に子どもの指導にあたっている。」にD評定がありました。
- ・前回、D評定をされた多くの方は、その理由を具体的に記述してくださいました。そのため、学校としても改善のための手立てを考えやすく助かりました。今回、理由についてまで具体的に記述された方があまりいらっしゃいませんでした。できるだけ改善のための具体的なご意見を記述くださると助かります。

## ○成果と課題

- ・児童の「学校生活は楽しい」のD評価がやや増加しています。学校生活の様子を見ていると、友達とのトラブルがうまく解決しない場合に学校生活が楽しくないと感じることが多いようです。
- ・「授業は、よくわかる。」はA評定が減少し、D評定がやや増加しました。学習が進むにつれて、困り感のある児童がやや増えています。
- ・「家でも、よく勉強している。」は、A評定が減少ですが、B評定が増加し、全体としてはプラスに転じています。宿題の出し方も工夫する学年も見られます。
- ・最も課題となっていた「個に応じた教育活動」については、A評定は減少したものの、B評定が増加し、全体としてもプラスになっています。

## ○ご意見に対する回答と今後の取り組み

- ・安全・安心な環境づくりには今後も最優先で取り組んでいきます。毎月の安全点検は、輪番制にし、複数の目で点検し、問題があれば迅速かつ適切に処置できるようにしていきます。
- ・来年度からスクールバスの委託業者が変更になります。子ども達の安全な登下校のため、問題点がないか常に確認し、改善すべき点については適宜バス会社と話し合う等していきます。
- ・避難訓練、通学路点検、不審者情報の提供等、安全・安心な環境作りに必要な活動を引き続き行っていきます。

- ・複式学級については、担任がどちらの学年についてもしっかり把握し、学級懇談会・個別面談等で保護者の方の質問にしっかり回答できるようにします。学習指導員の学級懇談会・個別面談出席は勤務時間と勤務内容の都合で出席はできませんが、担任と学習指導員との連絡を密にしておくことで回答できるようにしていきます。ご質問にその場でこたえられない内容については、担任が学習指導員に確認して回答する等していきます。

#### ○前期にあったご意見に対する対応について

- ・宿題の出し方ですが、上学年でこれまでの前期の宿題の出し方に工夫を加えるようにしました。今後、状況に応じて自分で考えて学習する機会を増やしていきたいと考えています。
- ・個別指導は主に人数の多い低学年を中心に個別学習のスペースを校内に確保し、1対1での指導を行いました。国語科・算数科を主に指導し、一定の成果があったと考えています。今後も引き続き個別指導にも力を入れていきます。
- ・学校行事やPTA行事に参加する場合のマナーについては、後期は特に必要性のある行事がありませんでした。次年度のもといちキャンプや運動会の実施前に保護者の方に呼びかけていきたいと考えます。
- ・オープンスクールについては、ご意見があったことを受け、今年度12月に行っていた授業参観を、11月に移動して2時間参観できるようにし、その他の休み時間・清掃等の活動も参観を希望される場合は公開すると計画しています。また、12月は個別面談を実施します。
- ・PTA常任委員会の「議事録」とまではいきませんが、本年度第4回常任委員会より、議事の内容と話し合われたことが分かるように記録を作成し、全PTA会員に配付するようにしました。
- ・今後のご意見のあったことについて適宜各種会議で検討していきます。